

総務常任委員会資料  
健康福祉部生活援護課

議案第37号

令和4年度宝塚市一般会計予算（第10号）

資料1（263～267）生活保護事業について

（単位：千円）

令和4年度	① 予算額	② 実績額	③ 見込額	④ 合計(②+③)	補正額(①-④)
生活扶助費(※)	2,306,745	1,690,255	578,793	2,269,048	△37,697
医療扶助費	1,929,811	1,493,756	516,739	2,010,495	80,684
介護扶助費	88,217	69,501	23,716	93,217	5,000
計	4,324,773	3,253,512	1,119,248	4,372,760	47,987

3月補正額 47,987千円

②実績額（令和4年4月～令和4年12月）

③見込額（令和5年1月～令和5年3月）

※ 生活扶助費については、医療扶助費及び介護扶助費を除いた扶助費

<補正理由>

【生活扶助費】

令和4年4月1日時点で保護世帯数が1,972世帯で保護世帯員数は2,600人、令和5年2月1日時点で保護世帯数が1,996世帯で保護世帯員数は2,604人です。

世帯数は24世帯増となりましたが、保護世帯員数は4人増にとどまり、4月時点とほぼ変動はありません。

母子世帯の就労等の自立による保護廃止や高齢世帯の年金生活者支援給付金の受給等により、減額を見込んでいます。

【医療扶助費】

保護受給者の高齢化による通院費と入院費の増加や新型コロナウイルスによる受診控えが収まってきたことにより、増額を見込んでいます。

【介護扶助費】

高齢世帯の中でも80歳以上となる方が増えていることで、介護サービス費の利用や施設入所により、増額を見込んでいます。